

狩野川台風から60年を迎え



国土交通省中部地方整備局沼津河川国道事務所長

藤井 和久

1. 狩野川放水路

今年、昭和33年9月26日に伊豆半島南部付近を通り、静岡県東部・伊豆地域に死者・行方不明者853名、堤防の決壊24ヶ所、被害家屋6775戸という多大な被害をもたらした狩野川台風から60年の節目の年となります。昭和40年7月に完成した狩野川放水路は、昭和23年9月16日に伊豆半島南部をかすめた「アイン台風」での大出水（床上浸水1962戸、床上浸水3680戸）を契機として計画が具体化し、昭和26年に工事が着工されました。用地問題など解決すべき懸案も多く、工事の進捗が思うように進展していなかったなかの昭和33年、狩野川台風に見舞われました。狩野川台風による悲惨な様子を目のあたりにされた国会議員久保田豊氏（伊豆の国市（旧菰山町）



狩野川放水路放流状況（H28.5 台風10号）

「ご出身）や、当時建設大臣の遠藤三郎氏（裾野市）出身らの尽力により、被災地の復興や放水路計画の見直しが行われました。当初、毎秒1000㎡の水を流す計画となっていたところ、トンネルの断面を拡大することにより、本数を2本から3本に増やすことにより、毎秒2000㎡の水を流す計画に見直しが行われるとともに、機械化施工の導入により工事が急ピッチで進められ、昭和40年7月に15年の歳月を経て、狩野川放水路は完成しました。狩野川放水路が完成してから現在に至るまで、狩野川流域では死者・行方不明者が出るような災害は一度も発生していません。

2. 防災意識の風化

「歴史にif『もしも』はない」（「起きなかったこと」は起きなかったことであるから、「起きなかったこと」なんか考えても仕方ない）という言葉を目にしたこと



ハザードマップから浸水深を身体で確認（伊豆の国市長岡南小学校）

「平成28年より、沿川7市町の小学校において防災・河川環境教育に力を入れています。防災・河川環境教育とは、学校教育を通じて、自然災害に関する知識と主体的な危険を回避する判断力を備えた個人を育成する取り組みを、子供から家庭・地域へと展開させて

教育を通じて、狩野川台風の記憶を風化させず、次世代に引き継ぎ、防災意識の向上を図り、そして、狩野川放水路を守っていくことを含め、治水事業への理解を深めることを含むソフト対策を「車の両輪」として実施することが重要ではないかと考えています。

今後、関係機関の皆さま方のご意見もお伺いしながら、防災・河川環境教育の取り組みをより深化させるとともに、取り組みの裾野を広げるために、水平展開を図っていきたく考えています。狩野川台風から60年の節目となる今年9月には、先輩所長が沿線首長とともに設立した「狩野川台風の記憶をつなぐ会」として、関係機関の皆さま方のご協力を頂きながら、災害に対し「強く」「しなやか」な地域づくりを推進することを目的とする式典の開催に向け準備を進めていきたいと思っています。

3. 誇りとやりがい

建設業において担い手不足が深刻化する中、建設業の魅力を発信するための取り組みが行われています。災害発生時、被災地へ救助活動や物資の輸送、炊き出し作業などの災害支援を行う自衛隊の活動を報道で拝見することしばしばありますが、被災地の最前線

総会上程議案審議 第1回役員会開く

三建（小野徹会長）は5月16日、三建中会議室で平成30年度第1回役員会を開き、総会上程議案等について審議した。

冒頭あいさつに立った小野会長は、4月17日に伊豆ジオパークが世界認定された。三建と下田建設業協会は「ジオパーク推進協議会」の会員となっており、今後、交通網の整備等で建設事業にかかわるものがあり、我々の活躍の舞台となるので様々なプランを提言していきたく。また、4月11日に大分県の耶馬溪町で起きた自然災害に触れ、山の斜面が崩れ、6人がお亡くなりになった。この崩落事故は日本を震撼させる大きな教訓をもたらし、この崩落の前20日間は雨が降っていない。通常は雨が降り続いて、裏山に水がたまり、土砂崩壊をもたらすが、耶馬溪はそうではなかったのだ。土木業界に衝撃をもたらした。世界ジオパークに認定されるほどの地質・地形をした伊豆半島は、逆に言えば、いつ、こうした災害が起きてもおかしくない地域であることを注意を喚



め、事務所としても、防災・河川環境教育の機会などを有効に活用して、息の長い取り組みになると思いますが、インフラの役割や「地域の守り手」である地元の建設業者の活動への理解を深めるための取り組みを行っていると思います。「地域の守り手」である建設業に対する国民の理解が深まれば、建設業に従事する方々が仕事への誇りとやりがいをより一層感じることができるようになり、建設業に従事したいという若い方々も増え、その

4. 最後に

結果として、建設業自体の魅力を一層高めることができるのではないかと考えております。

電気設備工事 設計施工

株式会社ダイナナ

代表取締役社長 内田 豪
本社 三島市梅名371-2
電話<055>977-3511代
熱海営業所・厚木支店

大野電機工業株式会社

代表取締役 大野 文男

三島市南二日町24-27 電話<055>975-1040代

近和電業株式会社

代表取締役 今瀬 誠
支社 静岡県三島市平成台8番地
TEL<055>986-5211代
静岡本社・東京支社

鉄骨のご用命は当社へ

国土交通大臣認定工場Mグレード

株式会社 大城工業

代表取締役 大城 英一
住所 伊豆の国市神島49-1 〒410-2325
TEL 0558(76)-3299
FAX 0558(76)-5007

マンション計画修繕工事 調査診断・改修工事、保全まで

責任施工・工業会会員

- ・コニシベステム工業会会員
- ・全国ハーゲン防水美装工業会会員
- ・イサムエラストマー会会員
- ・リポールマイティ工業会会員

株式会社 トミック
静岡県三島市川原ヶ谷230番地の3
TEL 055-973-2056 FAX 055-973-2076

生コンの御用命は下記の会社をご利用下さい

静岡県伊豆生コンクリート協同組合
事務所 〒415-0016 静岡県下田市中488-1（EフラットII） 電話（0558）22-9044
☎組合員

天城生コン(株)
〒413-5307 賀茂郡河津町湯ヶ野215-1 TEL (0558) 36-8032

伊豆工業(株) 仁科工場
〒410-3513 賀茂郡西伊豆町中463-1 TEL (0558) 52-0592

(株)賀茂生コン
〒410-3501 賀茂郡西伊豆町字久須3294 TEL (0558) 55-0742

熱海生コンクリート販売協同組合
事務所 伊東市吉田字長畑道上1026-37 電話（0557）44-4411
☎組合員

真鶴生コンクリート(株)
神奈川県足柄下郡真鶴町真鶴1898
TEL (0465) 68-1171

(株)しょうじ建設函南生コン
田方郡函南町榎井沢226-1
TEL (055) 974-0226

野村マテリアルプロダクツ(株)
湯河原工場
熱海市伊豆山大黒崎269
TEL (0557) 80-2141

野村マテリアルプロダクツ(株)
熱海工場
熱海市曽我山1993
TEL (0557) 82-1244

稲村生コンクリート(株)
熱海市上多賀457-1
TEL (0557) 68-1621

磯サキ工業 磯生コン工場
伊東市萩 395
TEL (0557) 37-8585

(株)新明通産
伊東市吉田字長畑道上1026-37
TEL (0557) 45-3433

野村マテリアルプロダクツ(株)
新野村工場
伊東市吉田字長畑道上1026-37
TEL (0557) 45-1366

(株)富士宇部
東伊豆工場
賀茂郡東伊豆町稲取2230-1
TEL (0557) 95-3168

三建めぐり

熱海ガス
総務部料金グループおおかわ な つ き
大川 奈津紀さん

～丁寧な対応とわかりやすい説明心掛ける～

採用試験前に企業見学で訪れた時の「アットホームな雰囲気」に惹かれ熱海ガスに入社して7年。総務部料金グループに所属し、来客対応などの事務業務を担当している。

入社当初は、「顔の見えないお客さまとコミュニケーションをとる電話対応が難しく、お叱りの言葉をいただいたこともあった」と振り返る。お客さまは年配の方も多く、一般の方でガスの料金体系について知っている人は少ない。だからこそ、「丁寧な対応とわかりやすく説明することを心掛けています」。

7月からは直属の後輩ができるそう



で、「もっとしっかりしないと」と気を引き締める。今後については、「会社では営業など他の仕事にもチャレンジできる環境があります。色んな仕事を経験して成長していきたいです」とさらなる飛躍を目指す。

建設業については、「夏や冬など厳しい環境の中でも地域のためにがんばってくれている」と話しつつ、「これから本格的に暑くなるので体調には気をつけてください」と呼び掛けてくれた。

趣味は音楽鑑賞とディズニーランドに行くこと。音楽はロックを好み、ONE OK ROCK（ワンオクロック）をよく聴くそう。

また、「東京ディズニーリゾートは今年35周年で、パレードを見に行くことを楽しみにしています」と瞳を輝かせる。

同社隣接のショールームでは料理教室などを随時開催しており、「さまざまな講座を用意しておりますので是非お越しください」とPRも忘れない。

1994年2月27日生まれの24歳。伊東市に在住。



今年3月にディズニーシーで

冒頭土屋委員長は「1年間の行事予定の確認をお願いしたい。また、建設産業政策2017+10、若い人たちに明日の建設産業を語るうの周知実践にかける議論の内容は働き方改革、生産性の向上、地域とのかわり等であるので、皆さんが現場での実践を通じて主体的に取り組んでいただきたい。また、若者の入職対策としてどのような状況が望ましいか検討していただきたい」と述べた。

佐野地区長は「年間行事予定の確認と建設産業政策の地域とのかわりで土木



三島建設業協会土木・災害対策委員会（土屋龍太郎委員長）と静岡県土木施工管理技士会三島地区（佐野茂樹地区長）は5月8日、三建大会議室で合同会議を開き建設産業政策2017+10の周知実践等について検討した。

冒頭土屋委員長は「1年間の行事予定の確認をお願いしたい。また、建設産業政策2017+10、若い人たちに明日の建設産業を語るうの周知実践にかける議論の内容は働き方改革、生産性の向上、地域とのかわり等であるので、皆さんが現場での実践を通じて主体的に取り組んでいただきたい。また、若者の入職対策としてどのような状況が望ましいか検討していただきたい」と述べた。

佐野地区長は「年間行事予定の確認と建設産業政策の地域とのかわりで土木

島津義弘は、戦国の最強軍団・薩摩軍人を率い生涯53度の合戦に参加。相手の計らざることを突く希代の戦略家として数々の武功を誇る一方、茶の湯、医学、学問に秀でる一流の文人、家臣や兵卒からも敬愛される名將であった。

関ヶ原の合戦が起るや彼は66歳の高齢にもかかわらず、15000の兵を率い西軍に参加した。しかしながら、石田三成から軽んじられ、夜襲の献策をするも退けられるなど、三成との間に確執が生じ、戦意欲

が湧かないうちに戦端が開かれた。しかも瞬く間に西軍が総崩れになったため東軍の中に残り残されてしまったのである。

義弘はやむなく自刃を覚悟したが、甥の豊久や宿将がそれを思い止まらせた。手段は唯一一つ、東軍の真つ只中を突破して南方へ出て大阪から薩摩へ帰るという作戦である。先ず正面の難敵、福島正則軍に突入し多くの兵が失われた。しかし上野では、ついに井伊軍に追いつかれたが、家老の長寿院盛淳が身代わりとなつて討たれ義弘を逃した。

しかし、疲労と飢えが彼らを次第に追い詰めていった。必死の逃避行の中でいつしか義弘軍は300余名になつていった。「薩摩旧記雑録」は、その間の様子を克明に伝えている。

凄絶な捨て身の戦法（スデガマリ）を繰り返しながら移す出ず僅かな時間、先を行く義弘たちは余力を振り絞って道を急いだ。歩けなくなった義弘を大男の中馬大蔵が背負った。飢えに窮した一行が最後まで連れていた馬を殺して食べた時のことである。それは薩摩へ直行せず、豊久の

領地、日向・佐土原へ寄り殿（しんがり）を務め戦死した甥の豊久の妻子に頼末を報告。弔意と慰めの言葉を残し薩摩へ向かった。

この、実に9割以上が戦死するという狂気にも似た敵中突破の撤退作戦は「島津の退き口」と呼ばれ、薩摩軍人の勇猛果敢さを天下に知らしめることになる。

その後、留守を守っていた義久（島津家16代、義弘の兄）は、温存していた大軍で国境を固める一方で東軍方の知友、井伊直政や公家の近衛前久を通して家康に陳謝と弁明を続け、関ヶ原から2年後、さす

が家康も島津の本領安堵を認めざるを得なかった。ろうの周知実践、企業局東部事務所柿田支所中島浄水場での県民の日のイベント協力等④異業種部会は大館節生副委員長を中心に異業種との連携の推進等を議題として審議した。

出席各委員からは、働き方改革は円滑に進まない、生産性の向上への対応方法、キャリアアップシステムの意義等、担い手3法の市町の認識不足、人手不足への対応や若者確保対策など多様な意見が述べられた。

歴史よもやま話 184
島津の退き口
敵中突破の撤退作戦

和泉 清

JR伊集院駅前に立つ島津義弘の銅像。
「関ヶ原の戦い」で敵中突破する勇姿をイメージしている（鹿児島県日置市）

耐震用構造部材、現場省力化商品、鉄筋加工品など特色有る商品群

- ファブデッキ：耐震性、居住性抜群、重量物載荷でもひび割れ無しの構造床材
- Fリング：閉鎖型せん断補強筋、フラッシュパット溶接で施工性抜群！
- パーメッシュ：異形鉄筋溶接金網、図面で割り付け、現場は置くだけ！
- SHC：熱間成形コラム、鉄本来の粘りを持った新発想の柱材・・・etc、詳しくは、当社営業までお問い合わせください。

ねじ1本からプラント用部材、
高層ビル用鉄骨材料まで
鉄の百貨店

柔軟な発想で鉄の未来をつくる

近藤鋼材株式会社

URL: <http://www.kondo-kouzai.co.jp>
メール: mail@kondo-kouzai.co.jp

沼津営業所 ☎ <055> 925-1900
FAX <055> 925-1970
静岡営業所 ☎ <054> 256-1200
FAX <054> 256-1220
伊豆営業所 ☎ <0558> 87-0500
FAX <0558> 87-1000

●JIS工場からより良い製品をお届け致します。

静岡県東部生コンクリート販売協同組合

事務所 沼津市足高338-1 電話 <055> 925-3344(代)
FAX <055> 925-3317

■組 合 員

(株)イワタ沼津工場 二葉建設(株)生コン部
東宏生コンクリート工業株式会社 静岡生コン(株)
三島生コン(株) 野村マテリアルプロダクツ(株)伊豆さくら工場
(有)高田建材 裾野生コン(株)

(株)しょうじ建設函南生コン 渡邊工業株式会社
第一生コン工場小野建設株式会社 (株)タカムラ生コン
修善寺生コン工場

有限会社長岡生コンクリート (株)古藤田生コン

新スルガ生コン(株) (株)広川生コン

“水”と“空気”と“環境”の良い住い作りに
花のある快適な暮らしのお手伝いをします。

総合設備設計・施工

(沼津市三島市及び近隣市町指定工事店)

株式会社 大石設備 “DAISETSU”

代表取締役 大石 千鶴子

本社/沼津市大岡525-7 TEL<055>962-7216

FAX<055>963-4879

三島支店/三島市錦ヶ丘3-12 TEL<055>975-7928

E-mail: daisetsu-soumu@krf.biglobe.ne.jp創業100年・最新技術・末永いサービス
省エネと生活環境の向上を提供

空調・給水・給湯・衛生・上下水道・防災設備・設計・施工



片野設備株式会社

代表取締役社長 片野 彰一

ISO 9001
認証取得〒411-0035 静岡県三島市大宮町3-3-12 TEL 055-971-2205(代) FAX 055-973-5246
E-mail: info@katanosetubi.co.jp URL <http://www.katanosetubi.co.jp>